



令和5年11月号



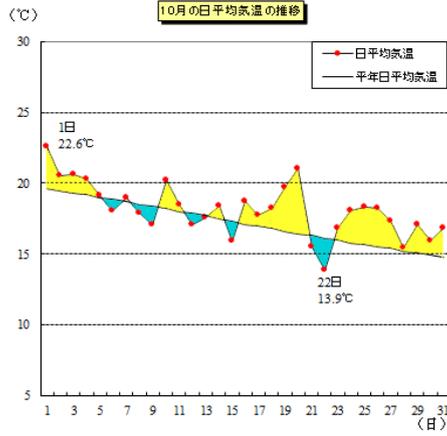
木々の色づき

例年11月になると、木々が色づいてきますが、今年は少し遅れているようです。昨年の同じ時期（左上の写真）と今年（左下の写真）を比べると銀杏の木はやや緑色が多く、紅くなっている木は少なくなっています。市役所屋上から見た、かみね公園（11月3日）です。



10月の気候

10月は、高気圧と低気圧が交互に進み、周期的に天気が変化しました。気温は平年より高く、晴れの日も多く、大気が不安定となる日もありましたが、降水量は少なくなりました。月平均気温は18・1と平年より高く特に最高気温の月平均は10月として2番目に高くなりました。月合計降水量は94・5ミリと平年の53%。月合計日照時間は213時間と平年の114%で、10月として、最も多くなりました。



一ヶ月予報 (気象庁発表)

高気圧に覆われやすく、寒気の影響を受けにくく、暖かい空気が流れ込みやすい時期があり、平年と同様に晴れの日が多く、月の前半は気温も高い予想です。平均気温は「高い」降水量は「ほぼ平年並み」、日照時間は、「ほぼ平年並み」の見込みです。



出前講座

天気相談所では気象の知識を広く知ってもらうために、出前講座を行っています。今年になってからは、回数も徐々に増えており、このところ、毎月1回のペースで行っています。内容としては、

天気相談所について
仕事の内容やできた経緯などを紹介
気象災害について

日立市で発生した気象災害について紹介
気候の特徴

日立市の気候の特徴について紹介
気候変動

70年を超える観測結果を紹介
など、をメインに、要望に応じて内容を作成しています。過去には、天気図の説明や、作り方などの講義や、観測機器の説明なども行ったこともあります。

出前講座を希望される際は、まず天気相談所に御連絡いただき、内容や日程など相談いただければと思います。具体的に決まっていなくても、ご相談できますので、お気軽にお問い合わせください。
費用は無料ですが、会場などは、御用意いただければと思います。

なお、日立市では「市政出前講座」というものも実施しています。天気のお話しもありますので、こちらから申し込んでいただくことも可能です。



天気用語の基礎知識

着氷・着雪注意報

水蒸気や水しぶきの付着・凍結により、通信線・送電線の断線、船体着氷による転覆・沈没等の被害が発生する恐れのあるときに着氷注意報が、雪が付着することによる電線等の断線や送電鉄塔等の倒壊等の被害が発生する（気温0℃付近で発生しやす）恐れのあるときに、着雪注意報が発表される。日立市においては、雪の予想がある場合、着雪注意報が発表される場合が多く、年間で数回発表されるが、着氷注意報は、発表されることが少ない注意報である。

……神峰の山から……

出前講座や気象講演会など、年に数回実施してきました。気象の知識を広く知ってもらう事の他に、天気相談所を知ってもらうこと、利用してもらうことを目的として行ってきましたが、その結果として、気象予報士の資格を取る方が出てきて、その方が未来の天気相談所を担ってくれればいいなあと思っていました。ここ最近、気象講演会を見て天気に興味をもって気象予報士の資格を取ったという若い方が数名見学にこられました。このような方に出会えるとてもうれしいですね。

通常の勉強や仕事のあいまに試験勉強をされていて、頭が下がります。